



「がんを治したい」この願いをかなえるために挑戦する企業を応援したい

東京海上・がんとたたかう投信

(為替ヘッジなし)(年1回決算型) / (為替ヘッジあり)(年1回決算型)

追加型投信/内外/株式

ファンドの運用状況の振り返りと カンドリアムからのメッセージ



本レポートの内容

- 2021年の年初来パフォーマンスの振り返り
- カンドリアムからのメッセージ～がん関連企業の見通し～
(ご参考)2021年の当ファンドの保有銘柄におけるM&A案件
- ヘルスケアセクターの見通しとがん関連企業の投資妙味
(ご参考)米国の金融政策正常化とヘルスケア株式
(ご参考)当ファンドの組入銘柄と市場指数の売上高成長率
- 設定来の基準価額の推移(2021年9月末まで)

当資料は、2021年8月末時点の各種報道発表及びファンドの主要投資対象である外国投資証券「カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト」の運用会社であるカンドリアム・ベルギー・エス・エー(カンドリアム社)および東京海上アセットマネジメントの見解を基に作成しています。今後の情勢変化などにより記載の内容は変更となる場合があります。

「モーニングスター アワード ファンド オブ ザ イヤー 2020」 において優秀ファンド賞を受賞しました。



優秀ファンド賞受賞

ESG型 部門

東京海上・がんとたたかう投信
(為替ヘッジなし)(年1回決算型)

「モーニングスター アワード ファンド オブ ザ イヤー 2020」について

投資信託の評価機関であるモーニングスターが、国内の追加型株式投資信託を対象に、リスクやリターンといった定量面での評価を満たし、運用スタイルや調査体制等の定性面から、優れた運用実績とマネジメントを持つファンドを選考したアワード(賞)です。

“Fund of the Year 2020(ファンド オブ ザ イヤー 2020)”は2020年の運用成績が総合的に優秀であると判断された投資信託を対象として表彰しています。

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。ESG型 部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド129本の中から選考されました。



2021年の年初来パフォーマンスの振り返り

最高値を更新するなど、2021年も堅調なパフォーマンスに

2021年年初来(9月まで)の当ファンドの基準価額は、為替ヘッジなしが+9.8%、為替ヘッジありが+3.1%となりました。2月後半から3月中旬にかけては、一時軟調に推移したものの、2021年9月上旬には設定来の最高値を更新するなど、年初来では堅調なパフォーマンスとなりました。

また、設定来の騰落率(2021年9月末)は、為替ヘッジなしが+57.2%、為替ヘッジありが+48.3%となっています。ヘルスケアセクターの中でも成長性の高い分野と見られているがん関連企業に特化したことや、銘柄選択による効果などが設定来の堅調な運用実績を支えました。

※上記の基準価額および騰落率は税引前分配金再投資ベースです。

2021年の月次騰落率の推移(期間:2021年1月~2021年9月、月次)



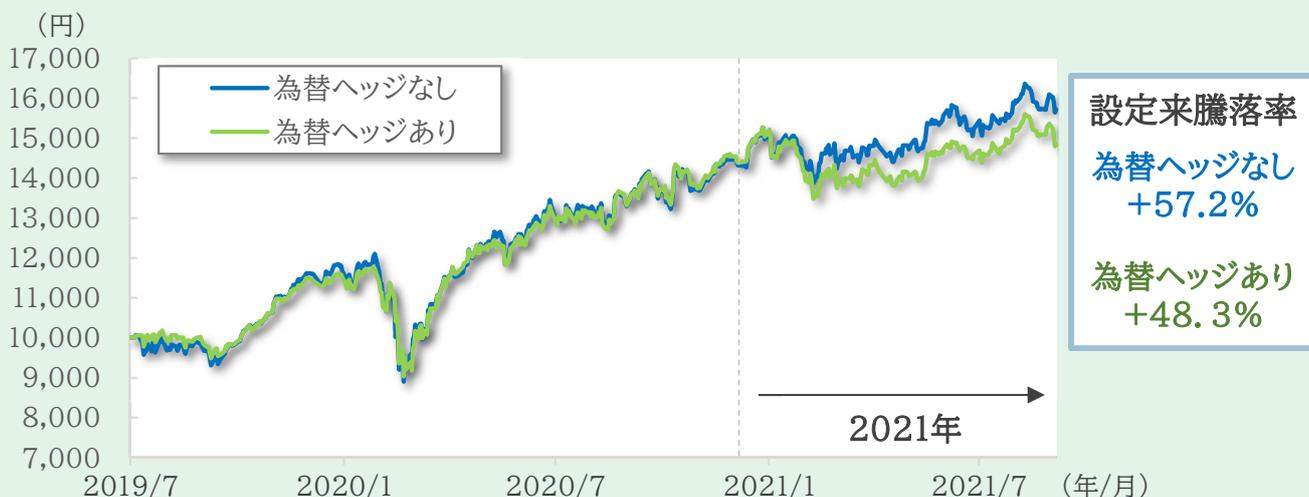
(2月~3月)

米国債の利回りが急上昇し、2020年に好調であったバイオテクノロジー企業やライフサイエンス企業などの成長銘柄を中心に利益確定の動きが広がるなか、当ファンドの保有銘柄も反落。

(4月~9月)

良好な決算や有望な治療薬が評価され保有銘柄の株価が上昇したこと、M&Aによる株価の急騰などが寄与。

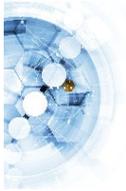
設定来の基準価額の推移(期間:2019年7月26日(設定日)~2021年9月30日、日次)



※基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後、税引前分配金再投資ベースです。※騰落率は、税引前分配金を再投資したのとして計算した基準価額を基に算出しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

出所:ブルームバーグ

※上記は過去の実績であり、将来の市場動向やファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。



カンドリアムからのメッセージ ～がん関連企業の見通し～

がん関連企業の見通しは良好。有望な新薬開発やM&Aの継続に期待

がん関連企業の見通しは引き続き良好であると考えています。

大手ヘルスケア企業の財務状況やキャッシュフローは堅調であり、常に新しい新薬候補を探しているため、成長分野であるがん関連企業を対象としたM&A取引は今後も継続すると見えています。2021年は、9月末までに当ファンドの保有銘柄で3件のM&Aがありました。(一部を次ページでご紹介しています)

また、がん治療分野では、画期的な新薬の開発に加え、既存医薬品の適応拡大や、複数の薬剤の併用を通じた治療効果の研究などが積極的に行われており、今後も更なる進展が期待されます。



Rudi Van den Eynde
(ルディ・ヴァン・デン・アインデ)
ポートフォリオマネージャー

がん関連企業を含むヘルスケアセクターは、安定性と成長性を兼ね備えた業種である一方、新薬開発の失敗や、主力医薬品の特許切れ、ジェネリック医薬品による価格低下圧力などのリスクがあるため、銘柄選定が非常に重要であると考えています。

当ファンドでは、優れた臨床データは最終的には優れた投資につながると確信しており、引き続き個別銘柄の入念な調査に基づく銘柄選定を着実に続けていきます。

今後注目される主ながん関連新薬のFDA*承認スケジュール

| 承認期限 | 開発企業 | 薬剤名 | 適応対象のがん |
|--------------|---|---------------------|--|
| 2021年 10月 | ジェンマブ(デンマーク) シージェン(米国) | チソツマブベドチン | 子宮頸がん |
| | ベイジーン(中国) | ブルキンサ | ワルデンシュトレーム型 マクログロブリン血症 (リンパ腫の一種) |
| 11月 | ジョンソン・エンド・ジョンソン(米国) レジェンド バイオテック(米国) | シルタカブタジン オートルーセル | 多発性骨髄腫 |
| | ロシュ・ホールディング(スイス) | テセントリク | 非小細胞肺癌(補助療法) |
| 12月 | エクセリクス(米国) | カボザンチニブ | 甲状腺がん |
| | メルク(米国) | キイトルーダ | ステージ2の黒色腫(術後療法) 腎細胞がん(補助療法) |

*FDA: 米食品医薬品局

※上記のうちレジェンド バイオテックを除く「開発企業」は2021年8月末における当ファンドの組入銘柄です。

※上記は個別銘柄への投資を推奨するものではありません。また、今後の組み入れを保証するものではありません。

出所: ブルームバーグ

※ 上記は過去の実績および将来の見通しであり、将来の市場動向やファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。

(ご参考)2021年の当ファンドの保有銘柄におけるM&A案件

事例1

モルフォシスによるコンステレーション・ファーマシューティカルズの買収

2021年6月2日発表。

買収規模は17億米ドル(約1,870億円*)。
当ファンドでは6月2日時点で、両社の株式を保有。

*2021年6月2日時点の米ドル・円為替レート
(1米ドル109.85円)にて円換算(出所:ブルームバーグ)

コンステレーション・ファーマシューティカルズ 企業概要

米国のバイオ医薬品企業。がん、炎症性疾患、免疫疾患の分子治療薬を開発。

モルフォシス 企業概要

ドイツのバイオテクノロジー企業。がん、炎症、自己免疫疾患患者向けの治療法および医薬品の発見、開発を行う。



詳細レポート「2021年も続く「がん関連企業」のM&A」

https://www.tokiomarineam.co.jp/fund/fund_report/2021/091.html

(東京海上アセットマネジメントの公式ウェブサイトアクセスします)

コンステレーション・ファーマシューティカルズ 株価の推移

期間:2020年12月31日~2021年7月14日、日次



事例2

ファイザーによるトリリウム・セラピューティクスの買収

2021年8月23日発表。

買収規模は22.6億米ドル(約2,480億円*)。
当ファンドでは8月23日時点で、トリリウム・セラピューティクス社株を保有(ファイザーは非保有)。

*2021年8月23日時点の米ドル・円為替レート
(1米ドル109.85円)にて円換算(出所:ブルームバーグ)

トリリウム・セラピューティクス 企業概要

米国のバイオ医薬品企業。
臨床段階のがん免疫治療法開発や、免疫調節経路を対象とする前臨床プログラムを保有。



詳細レポート「保有銘柄における2021年、2件目のM&A」

https://www.tokiomarineam.co.jp/fund/fund_report/2021/122.html

(東京海上アセットマネジメントの公式ウェブサイトアクセスします)

トリリウム・セラピューティクス 株価の推移

期間:2020年12月31日~2021年8月31日、日次



※上記のうち、モルフォシス、トリリウム・セラピューティクスは2021年8月末における当ファンドの組入銘柄です。
※上記は個別銘柄への投資を推奨するものではありません。また、今後の組み入れを保証するものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の市場動向やファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。

出所:ブルームバーグ



ヘルスケアセクターの見通しと がん関連企業の投資妙味

ヘルスケアは「ディフェンシブ性」と「成長性」を兼ね揃えたセクター

ヘルスケアセクターは、一般的には「ディフェンシブセクター」として位置付けられています。ビジネスの特性上、外部要因よりも医療ニーズとイノベーションが業績の大きな決定要素となるため、景気の循環に左右されにくいという特性を持ちます。

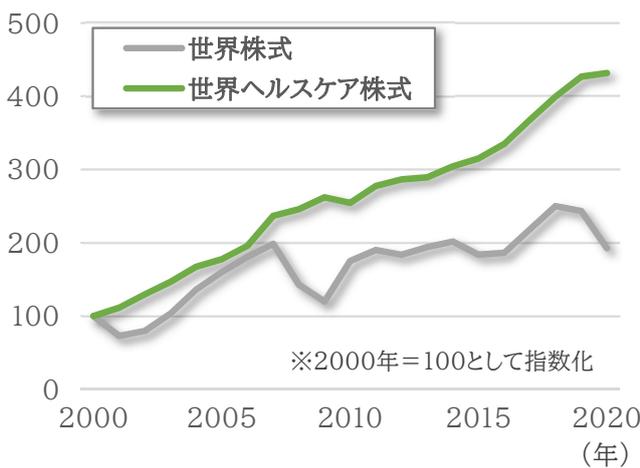
また、ヘルスケアセクターは過去の実績において、利益の安定性(振れ幅)だけでなく、成長性(伸び率)も兼ね揃えたセクターと言えます。過去20年間におけるヘルスケア株式の成長率は世界株式より高く、長期的に世界株式を上回るリターンを投資家にもたらしています。

今後も、イノベーションの進展や高齢化の進展を背景に、ヘルスケア業界の長期的な成長性は不変であると考えています。

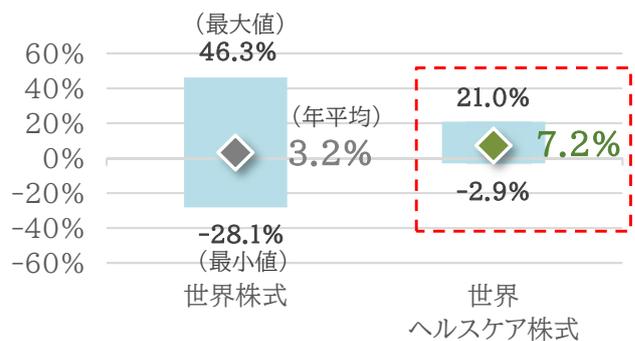
世界株式・世界ヘルスケア株式の一株利益と株価の推移(過去20年間)

<一株利益の推移>

(期間:左右図ともに2000年~2020年、年次)



<一株利益の年間成長率>

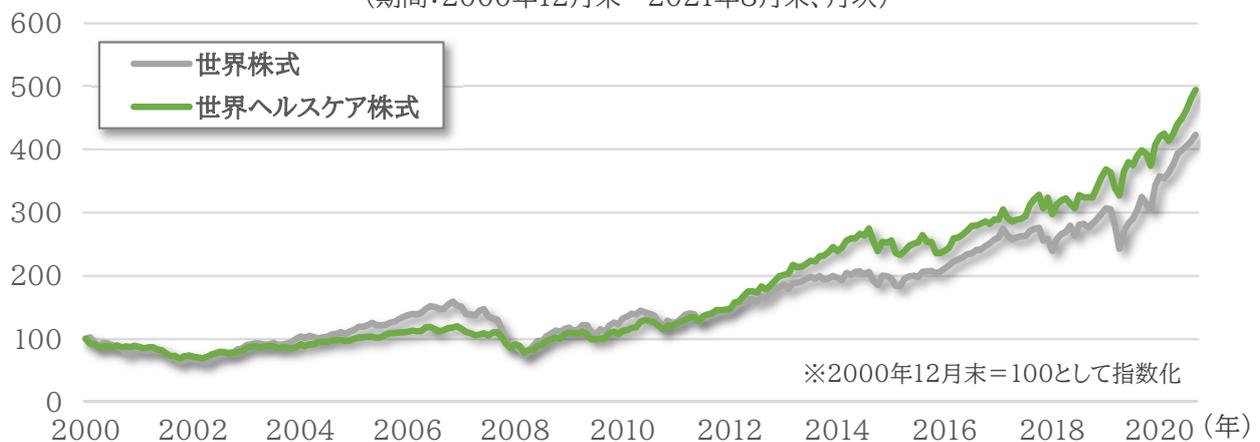


| | 世界株式 | 世界ヘルスケア株式 |
|-------|------|-----------|
| 増益年の数 | 13回 | 19回 |
| 減益年の数 | 7回 | 1回 |

※一株利益は実績ベース、年平均の成長率は複利ベースの年平均成長率です。

<株価(配当込み、米ドルベース)の推移>

(期間:2000年12月末~2021年8月末、月次)



※【世界株式】MSCIワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース、為替ヘッジなし)、【世界ヘルスケア株式】MSCIワールド・ヘルスケア・インデックス(配当込み、米ドルベース、為替ヘッジなし) 注)MSCIワールド・インデックスおよびMSCIワールド・ヘルスケア・インデックスは、当ファンドのベンチマークではありません。

出所:ブルームバーグ

※上記は過去の実績および将来の見通しであり、将来の市場動向やファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。

米国では薬価の議論を続ける一方、医療イノベーションを高く評価

薬価を巡る議論が大きな変更に至る可能性は小さい

米国では、薬価を巡る議論が過去6年間にわたって行われていますが、最終的には小さな変更が行われる可能性があるものの、ヘルスケアセクターへの影響はバイデン政権においても限定的であると見ています。

米国の医療制度は非常に複雑な制度であり、改革を行う上では高度な利害調整が必要であることから、政党が既存の制度を大きく変えることは現実として非常に困難です。

なお、医療制度改革のうち、薬価改革に関して積極的な提案が行われていますが、米国議会は共和党と民主党の間で概ね拮抗していることに加え、かなりの数の穏健な民主党も非常に進歩的な改革に反対しているため、大きな改革案が通過する可能性はわずかであると考えます。



むしろ、米国の政治家は医療イノベーションを高く評価

一方で、足元では米国国立衛生研究所(NIH)の予算の大幅増加が承認されました。内訳では、NIHを構成する組織の一つである国立がん研究所への予算増や、医療高等研究計画局(ARPA-H)の設立などが実現し、先端研究の強化が図られています。これは、米国の政治家が医療イノベーションをいかに高く評価しているかを示していると考えます。

また、新型コロナウイルスの感染拡大という世界的な危機の経験から、新薬の承認プロセスの短縮化など、開発・研究を支援するプロセスも見直されています。

こうした動きは、がんをはじめとする疾病の革新的な治療法の開発を加速させ、結果として長期的なヘルスケアセクターの成長性を支えると期待しています。

ARPA-H(医療高等研究計画局)

アメリカ人の健康改善のための研究加速を目的として、バイデン政権の提案によって設立された医療専門の国家研究機関。

DARPA(アメリカ国防高等研究計画局)で開発された技術が、後にインターネットやGPS(位置情報システム)、自動運転などのイノベーションをもたらした成功事例から着想を得て設立。

がんの他、アルツハイマー病、糖尿病の防止、発見、治療するための革新的な方法の研究に取り組む予定。

主な薬価に関する提案・議論に対するカンドリアムの見解・見通し(2021年8月末時点)

| 内容 | 見解と見通し |
|---|--|
| 一部の薬の価格の決定について政府と製薬会社が直接交渉を可能とする法案 (交渉を拒否する製薬会社には罰則を設けるなど、政府が薬価の決定に深く関与することが可能となる) | 共和党と一部の穏健な民主党員が反対すると見られるため、実現可能性はかなり低いと見ています。 背景として 1)製薬業界は米国の雇用創出や輸出を担う重要な経済部門の一つであること 2)政府の介入によってイノベーションが阻害される懸念 3)米国人の国民性として、政府が民間に直接介入することへの否定的な姿勢など |
| 国際薬価指標 (国際的な薬価の水準を参照して薬の価格を決定する制度) | 米国人は海外からの政治的決定に導かれるという考え方を嫌う傾向にあることから、 <u>政治的な支持を得られにくい可能性がある</u> と見ています。 |
| 薬価の引き上げを物価上昇の範囲内に抑制する法制度 | 実現の可能性は高いものの、正味価格(コストなどの影響を除いた薬の実質的な価格)の上昇は年々緩やかになっており、影響は限定的と考えられます。 |

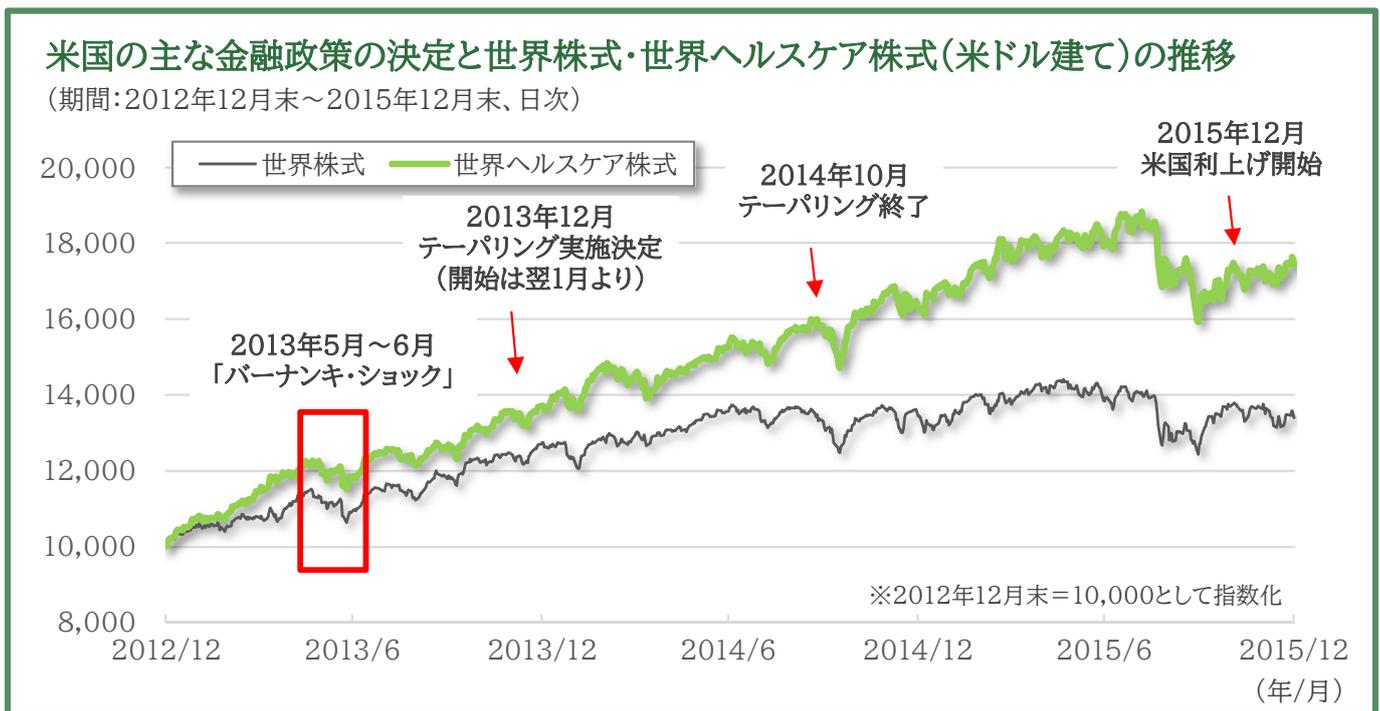
※上記は過去の実績および将来の見通しであり、将来の市場動向やファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。

(ご参考)米国の金融政策正常化とヘルスケア株式

米国では、直近のインフレ傾向や雇用環境の回復を受けて、量的緩和策の縮小(テーパリング)を近い将来に実施することを示唆しています。米国の金融政策姿勢は、自国だけでなくグローバルな金融市場に影響を与えるため、その動向が注目されます。

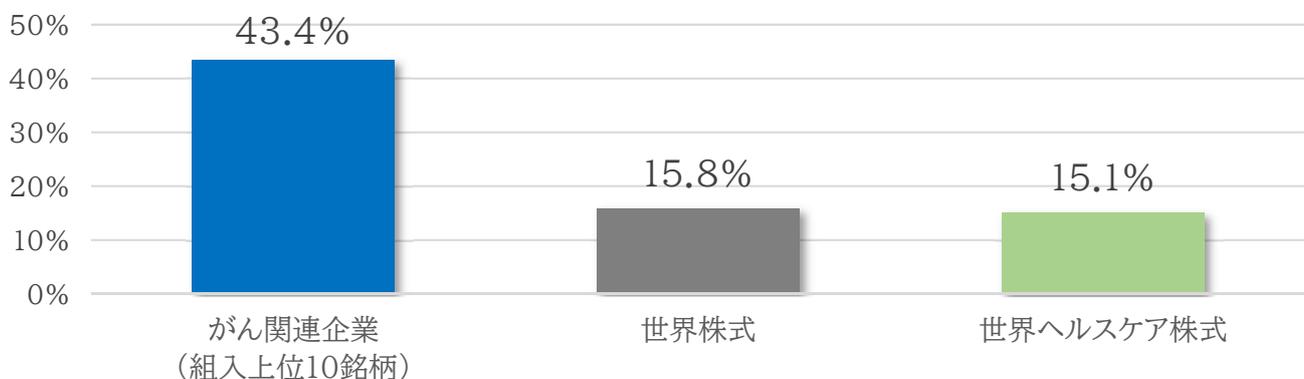
2013年に発生した「バーナンキ・ショック」では、当時のバーナンキFRB(米連邦準備制度理事会)議長が、テーパリングの開始を示唆したことで金融市場が動揺し、株式市場は一時的に大きく下落しました。しかし、今回は過去にテーパリングの示唆によって市場の混乱をもたらした経験から、FRBは慎重に金融政策の正常化を進めると見られています。

また、過去の局面においては、金融政策姿勢の変更が進む中、世界ヘルスケア株式は概ね堅調に推移しました。



(ご参考)当ファンドの組入銘柄と市場指数の売上高成長率

(2020年実績値と2022年予想値(ブルームバーグ集計値)との比較)



※「がん関連企業」(組入上位10銘柄)はファンドの主要投資対象である外国投資証券「カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト」の2021年8月末時点の組入上位10銘柄(組入比率合計は当該外国投資証券の純資産の約47.5%を占めます)の売上高成長率を単純平均したものです。世界株式、世界ヘルスケア株式は下記市場指数ベースの実績および予測値に基づく成長率です。

※【世界株式】MSCIワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)、【世界ヘルスケア株式】MSCIワールド・ヘルスケア・インデックス(配当込み、米ドルベース) 注)MSCIワールド・インデックスおよびMSCIワールド・ヘルスケア・インデックスは、当ファンドのベンチマークではありません。

出所:ブルームバーグ

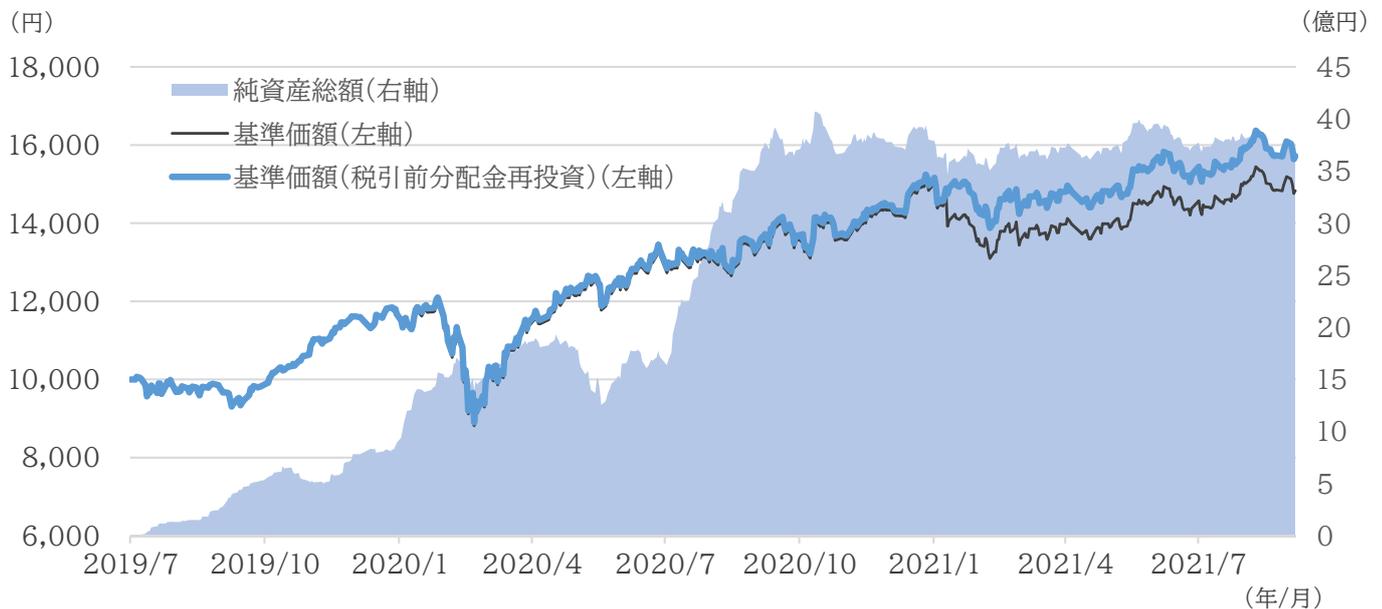
※ 上記は過去の実績であり、将来の市場動向やファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。



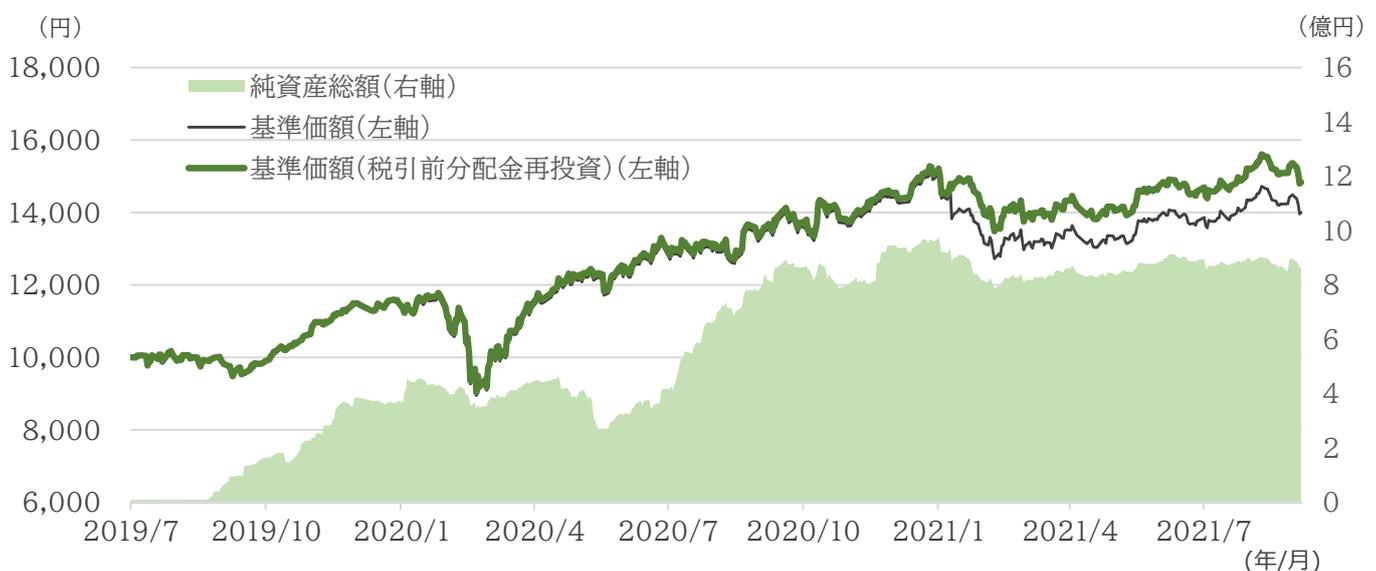
設定来の基準価額の推移(2021年9月末まで)

(2019年7月26日(設定日)~2021年9月30日、日次)

<為替ヘッジなし(年1回決算型)>



<為替ヘッジあり(年1回決算型)>



※ 基準価額、基準価額(税引前分配金再投資)は信託報酬控除後のもので、1万口当たりで表示しています。

【本資料で使用した指数について】

MSCIワールド・インデックスおよびMSCIワールド・ヘルスケア・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

※ 上記は過去の実績であり、将来の市場動向やファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。

ファンドの主なリスク

※詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 投資する有価証券等の値動きにより基準価額は変動します。したがって、**投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。**
- **運用による損益は、全て投資者に帰属します。**
- 投資信託は**預貯金や保険と異なります。**
- ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定されます。

| | |
|------------------------|--|
| <p>価格変動リスク</p> | <p>株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります(発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。)。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。</p> |
| <p>特定のテーマへの集中投資リスク</p> | <p>ファンドは、がん関連企業の株式に集中的に投資するため、幅広い業種・銘柄に分散投資を行うファンドと比較して、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。</p> |
| <p>為替変動リスク</p> | <p>外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動の他、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向にすすんだ場合には、基準価額が下落する要因となります。</p> <p>なお、「為替ヘッジあり」は原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、円金利がヘッジ対象通貨建ての金利より低い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかります。ただし、為替市場における需給の影響等によっては、金利差相当分以上のヘッジコストがかかる場合があります。</p> |
| <p>カントリーリスク</p> | <p>投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。</p> <p>また、投資対象国・地域には新興国が含まれています。新興国を取巻く社会的・経済的環境は不透明な場合もあり、金融危機、デフォルト(債務不履行)、重大な政策変更や様々な規制の新たな導入等による投資環境の変化が、先進国への投資に比べてより大きなリスク要因となることがあります。</p> <p>さらに、新興国においては市場規模が小さく流動性が低い場合があります、そのため組入資産の価格変動が大きくなる場合があります。</p> |
| <p>流動性リスク</p> | <p>受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがあります。その際、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。</p> |

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

お申込みメモ

※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

| | | |
|--|----------------------------|--|
|  | 購入単位 | 販売会社が定める単位。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| | 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| | 購入代金 | 販売会社が指定する日までにお支払いください。 |
|  | 換金単位 | 販売会社が定める単位。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| | 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| | 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して、7営業日目からお支払いします。 |
|  | 換金制限 | ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金には制限を設ける場合があります。 |
| | 購入・換金 申込受付の中止 および取消し | 取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入（スイッチングによる申込を含みます。以下同じ。）・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 |
| | 購入・換金 申込不可日 | 以下に該当する日には、購入・換金のお申込みができません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日 ・ルクセンブルグの銀行の休業日 ・ルクセンブルグの銀行の休業日の前営業日 |
|  | 信託期間 | 2030年2月4日まで（2019年7月26日設定） |
| | 繰上償還 | 主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなる場合は、繰上償還となります。 以下に該当する場合等には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・各ファンドの受益権の総口数が30億口を下回るようになったとき ・ファンドを償還することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき |
| | 決算日 | 2月4日（休業日の場合は翌営業日） |
| | 収益分配 | 年1回の決算時に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 <small>※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。</small> <small>※分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</small> <small>※販売会社との契約によっては再投資が可能です。</small> |
| | 課税関係 | 収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。 課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 <small>※税制改正等により、課税上の取扱内容が変更になる場合があります。</small> |

※作成日時点のものであり、変更になることがありますのでご注意ください。

ファンドの費用

※詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

| 投資者が直接的に負担する費用(購入時・換金時) | |
|-------------------------|--|
| 購入時手数料 | 購入価額に <u>3.3%(税抜3%)</u> の率を乗じて得た額を上限として販売会社が個別に定める額とします。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用(保有時) | |
|--------------------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | <p>ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加えた実質的な信託報酬率は、信託財産の純資産総額に対し、<u>年率1.877%程度(税込)</u>^(注)となります。</p> <p>ファンドの信託報酬率 : 年率1.177%(税抜1.07%) 投資対象とする外国投資証券の信託報酬率: 年率0.7%</p> <p>(注)ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者の皆様が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。</p> |
| その他の費用・ 手数料 | <p>以下の費用・手数料等がファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 ファンドの純資産総額に年率0.011%(税込)をかけた額(上限年99万円)を日々計上し、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了の時にファンドから支払われます。・ 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料・ 資産を外国で保管する場合にかかる費用・ 信託事務等にかかる諸費用・ 投資対象とする外国投資証券における諸費用および税金等 <p>※監査にかかる費用を除く上記の費用・手数料等は、取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p> |

ファンドの手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、事前に表示することができません。

販売会社(作成日時点)

| 商号(五十音順) | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-------------------|--------------------------|---------|---------------------|---------------------|----------------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
| 株式会社 池田泉州銀行 | 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号 | ○ | | ○ | |
| 池田泉州 T T 証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号 | ○ | | | |
| Iーエ証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号 | ○ | | | |
| auカブコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号 | ○ | ○ | ○ | |
| 株式会社 S B I 証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 株式会社 愛媛銀行 | 登録金融機関 四国財務局長(登金)第6号 | ○ | | | |
| OKB証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第191号 | ○ | | | |
| おかやま信用金庫 | 登録金融機関 中国財務局長(登金)第19号 | ○ | | | |
| 十六TT証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第188号 | ○ | | | |
| 株式会社 大東銀行 | 登録金融機関 東北財務局長(登金)第17号 | ○ | | | |
| 東海東京証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号 | ○ | | ○ | ○ |
| 西日本シティ T T 証券株式会社 | 金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号 | ○ | | | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号 | ○ | | ○ | |
| むさし証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号 | ○ | | | ○ |
| 株式会社 山形銀行 | 登録金融機関 東北財務局長(登金)第12号 | ○ | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

※株式会社 池田泉州銀行、池田泉州TT証券株式会社、株式会社 愛媛銀行、株式会社 大東銀行は、東京海上・がんとたか投信(為替ヘッジなし)(年1回決算型)のみのお取り扱いとなります。※販売会社によっては、現在、新規申込みの取扱いを中止している場合があります。

■ 設定・運用 お問い合わせは

東京海上アセットマネジメント

<https://www.tokiomarineam.co.jp>

商号等：東京海上アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

東京海上アセットマネジメント YouTube公式チャンネル

ファンド・マーケット関連動画などを公開しています。



【一般的な留意事項】

- 当資料は、東京海上アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みにあたっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に掲載された図表等の内容は、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。